

男女共同参画の視点からの防災

事例集

事例6 地方防災会議の女性委員の割合を高める工夫3

宮城県
柴田町

【取組の概要】（市町村防災会議：町による取組）

- ・これまで防災会議に女性委員は1人もいなかったが、東日本大震災を契機に、防災施策に女性の視点を反映させるため、女性の登用に向けた取組を実施。
- ・実際に地域防災で活躍している女性を中心に登用。
- ・2年間で6人の女性を登用し、女性割合が増加（1名は異動により男性に）。

【任命した女性委員】

- ・柴田町男女共同参画推進審議会 会長
- ・柴田町各種婦人団体連絡協議会 会長
- ・柴田町婦人防火クラブ連合会 会長
- ・柴田町第4行政区 区長
- ・柴田町民生委員児童委員協議会 会長
- ・東北電力白石営業所 総務課 課長
(異動で男性に(H27.7))

＜柴田町防災会議に占める女性の割合＞

年 月	委員 総数 (人)	女性 委員の 数(人)	女性 委員の 割合(%)
H20.4	21	0	0
H26.9	23	6	26.1
H28.2	23	5	21.7

(内閣府男女共同参画局調べ)

取組により得られた効果

- ・地域防災の現場で活躍する女性が増えたことにより、町の防災対策に女性の声を反映できる体制ができた。
- ・地域防災計画に男女共同参画の視点が反映できた。

平成28年3月現在

柴田町総務課 0224-55-2111
general-affairs@town.shibata.miyagi.jp

町の防災会議に女性委員を増やすための取組です。

宮城県柴田町では、女性委員が1人もいませんでしたが、東日本大震災を契機に、女性委員の登用に取り組みました。

【ポイント】

- ✓ 地域の女性団体、婦人防火クラブ、自治会等、地域で活躍する女性を中心に女性委員を登用。
- ✓ 女性委員が防災会議に加わったことにより、実際に地域防災計画に男女共同参画の視点を反映することができました。